

いきなり私ごとで恐縮の一言。加齢の気弱さに厳冬を暖かい国で過ごそうとして、もう百回以上も出かけて風邪ひとつ引いたことのない国で、思いもよらず一週間余も入院する病に伏し、退院後その地で一ヶ月ほどの療養を余儀なくされました。昨年につづき、私としては年のせいの迂闊な災難というしかないのですが。沢山いただいた賀状にお応えもできず。所在なく、いまは八幡山のいささかの低温にもひるむという、静養(?)の日々です。(松本亮)

☆

ことはまたインドネシアは選挙の年で、総選挙はすでに4月9日に行われましたが、大統領選挙の後始末まで(10月初旬という) **政府主催の一般集会はすべて禁止**ということになり、したがって今年予定されていたジョクジャカルタ特別州政府文化局主催**II**フントス・ルティン・ワヤン・クリが中止。ということとは、残念ながら**州政府文化局主催8月22日予定の日本ワヤン協会上演ワヤン・ジュパン「満月の夜のリムブ」も中止**というわけです。(政府主催の集会禁止の知らせは、2月23日夕刻、その時の私の宿ムスタム家に、州政府のヌルサトウイカ氏が急用とのことで現れ、こういうわけで申し訳ないが、バ・マツモト、今年はだめになりました。来年、きつとまたお会いしましょう、とわざわざ挨拶に来られたのだった)

☆

この夏以降決まっている予定はとりあえず以下のとおりです。その時期になりましたらチラシをお送りします。他はあらためてのお知らせです。

9月27日(土) 東京家政大学博物館主催、演目「アノマン使者に立つ」

オリジナルIIキ・ティンブル、訳II松本亮、人形操作II中辻正
11月8日(土) 日本ワヤン協会、荒川区芸術文化振興財団主催

演目II「満月の夜のリムブ」、会場II日暮里サニーホール

◎ブルーバード(青い鳥)はインドネシアにはいないらしい。

ジョクジャでムスタムさんと「満月の夜のリムブ」のインドネシア語訳をこねくり作っていて、青い鳥の詩の部分でいきなりムスタムさんが、青い鳥って何だという。チルチル・ミチルをご存じない。その後ジョクジャの友人幾人かに確かめてもおなじだ。ジャカルタには「ブルーバード」タクシーが走りまわっているのにねえ。ジャカルタで、この物語はあるいはメーテルリンクのこの名作とは関係なく、きれいなタクシー名だけが走っている？

ついでながら、ペガサス(天馬。インドネシア語ではクダ・スンプラニ)は小学校低学年の子までよく知っているのだ。教科書や流通している絵本などの影響なのでしょう？

◎**ダラン・アセブ・スナンドル・スナルヤ逝く。**

なんともきつく心痛む知らせだ。どんなにかお世話になり、親しくしていただいたか。日本に行きたいときりにいわれていた。コンパス紙によれば、3月31日午後2時ごろ、心臓発作で亡くなった、亡くなる前、病気がちで酸素吸入をつづけていた、と。享年59歳。スنداのワヤン・ゴレの偉大な魂魄、天に返る！(拙著「ワヤンを楽しむ」参照)